

教 科 外 国 語 科 目 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 Ⅱ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4 単位	履修形態	必修・ 選択
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	SKY WARD	副教材	速読英単語 Next Stage		
授業概要	英文を読み、内容を理解し、表現することができる。				
授業内 容 および 到達目 標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	2年生の復習 文化と歴史 エネルギー問題 食文化	英文を読み、内容を十分に理解できる。 英単語を理解したり、書くことができる。 英文を正確に表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	速読英単語 Next Stage	
	2 学 期	ビジネス 英語学習 ジェンダー論 環境 言語 人体・医学	受験に応じた内容理解をすることができる。 受験に応じた解答を正しくすることができる。 英文を適切に表現できる。	速読英単語 Next Stage	
	3 学 期	都市問題 地球の資源 教育	受験に応じた内容理解をすることができる。 受験に応じた解答を正しくすることができる。 英文を適切に表現できる。	速読英単語 Next Stage	

教科 外国語

科目 英語表現Ⅱ

授業科目	英語表現Ⅱ	単位数	2 単位	履修形態	必修・選択	
履修学年	高校 3 年 普通科	コース				
教科書	be 46	副教材	速読英単語 Next Stage			
授業概要	英文法を正しく理解し、表現できる。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材		
	1 学期	時制 完了形	英文法を正しく理解することができる。 英単語を理解し、書くことができる。 英文を正確に表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	速読英単語 Next Stage		
		2 学期	助動詞 受動態 不定詞 動名詞 分詞 関係詞	英文法を正しく理解することができる。 英文法を理解した上で、正しく正確に解答することができる。 英単語を正確に日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	速読英単語 Next Stage	
			3 学期	比較 仮定法 さまざまな表現	英文法を正しく正確に理解することができ、その上で、正しく解答することができる。 英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	速読英単語 Next Stage

教 科 英 語 科 目 ゼ ミ 必 修

授業科目	ゼミ 必修	単位数	1 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	センター試験 英語 リスニングオリジナル問題集	副教材	文法復習テキスト センター試験対策テキスト		
授業概要	センター試験対策として問題演習を中心に、既習の文法事項の復習と定着を図り、語彙力、読解力、リスニング力といったセンター試験で得点するのに必要な能力をバランスよく強化する。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	文法事項の復習 リスニング演習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。 語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。		文法復習テキスト リスニングオリジナル問題集
	2 学 期	リスニング演習	センター試験の形式に慣れる。 語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。		リスニングオリジナル問題集、センター試験対策テキスト
	3 学 期	問題演習 リスニング演習	センター試験に向けた実践的な力を養う。 語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。		リスニングオリジナル問題集、センター試験対策テキスト

教 科 英 語 科 目 ゼ ミ 選 択

授業科目	ゼミ 選択	単位数	4単位	履修形態	選択 ・ 必修
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	文法演習テキスト センター試験対策テキスト	副教材	インターネット上の教材		
授業概要	既習の文法事項の復習と問題演習を中心に語彙力と読解力、リスニング力の向上を図る。 インターネット上の多様な英語教材に触れながら学習内容を定着させ、センター試験に対応するための実践力の養成を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	文法事項の復習 問題演習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。 語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。		文法演習テキスト インターネット上の教材
	2 学 期	問題演習	センター試験の形式に慣れる。 語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。 さまざまな英語教材に触れ、自分の意見を表現できるようになる。		センター試験 対策テキスト インターネット上の教材
	3 学 期	問題演習	センター試験に向けた実践的な力を養う。 語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。		センター試験 対策テキスト

教科 国語 科目 現代文B

授業科目	現代文 B	単位数	3 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	新編 現代文 B (大修館)	副教材	教科書準拠ワーク 図説 国語要覧 漢字問題集		
授業概要	2 学年 6 単位で履修する現代文 B の後半の 3 単位。高校 2 年の正しい読解学習を足場として、作品の全体像をとらえ、内容をまとめる力を養成し、さらに作品に対する意見が述べられる力を着ける。読解のために重要な語彙力は課題として確実にこなし、漢字検定準二級取得を目標とするなど、センターテストに取り組める学力を養成する。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	伝統を受け継ぐ 名作を読む 小説を読む	「ひかりのどけき春の日に」より筆者の意見と引用古典の趣旨をつかみ、日本人に共通する「桜への思い入れ」の輻輳性をとらえる。 ことば、音楽、住居から「間」を考える文より「間」に対する日本人の感性を一般化してとらえる。 「こころ」を恋愛から脱却して細部を読み込み「人はどう生きるべきか」を考える。 時代小説の主人公の小さな反発と自立の芽をとらえ、若者の心として一般化する。		
	2 学 期	社会に生きる 現代を考える	人生と人の社会的役割について述べた二つの評論文から「人は何の為に生きるのか」について、争点を踏まえた議論の方法を学ぶ。 現代文化によって変わる人間の生活や思想パターンについて、現象の理解と解釈の方法を学ぶ。 *以下 入試問題演習		
	3 学 期	読書の広場	映像化された著名な文学作品を学び、文章からの読み取りや、修辞の鑑賞法を学ぶ。		

教 科 国 語 科 目 古 典 B

授業科目	古典 B	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	新編 古典 B (大修館)	副教材	教科書準拠ワーク 図説 国語要覧 解析古典文法		
授業概要	2 学年 5 単位で履修する古典 B の後半の 3 単位。2 年間で習得した古典文学の基礎力を用いて、作品の全体像を正しくつかみ、それを踏まえた上で細部を正しくとらえる読解力を身に付ける。全体像をとらえ、細部の読解につなげる技術でセンター入試レベルで力を発揮できるようにする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	日記への招待	「土佐日記」「更級日記」を作品の執筆動機や態度と関連させ、作品ごとの読解ポイントに合わせてより深い読み取りをする。		
		物語への招待	誰もがその概略を知っている中国古典の物語を、その予備知識を使って細部まで正しく読む。		
		随筆・歴史物語	王朝時代の文学を古文読解の基本ポイントを踏まえて細部に注意を払いながら読む。		
		説得の技 (逸話)	為政者への説得に用いられた中国の逸話を、その視点から捉えて論点を読み取る。		
2 学 期		説話・日記	日本文学の伝統の一つ省略を補う読みを学ぶ。		
		英雄の物語 2	中国古代の豪快な描写と人物像とを味わう		
		物語	源氏物語で既習の古文の読みの技術を駆使した読みの実践学習。		
		人間の本質	論語とは違う中国古代の思想を理解する		
		道家・法家の思想			
3 学 期		恋の歌	短歌の技法習得から豊かな読解鑑賞をする		
		理想の世界	中国古代の物語から思想を読む		
		愛の行方	近世の人々の人生観恋愛観を知る		

教 科 国 語 科 目 ゼミ選択 選択

授業科目	ゼミ選択	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書			副教材	2017 進研(センター試験)対策国語重要問題演習現代文／古典	
授業概要	3 学年 1 単位で履修するゼミ選択必修の国語。高校 2 年までに修得した国語学習法の基本を踏まえ、センター試験に向けた対策として、評論・小説・古文・漢文の演習問題を解きながら解き方のコツや知識を深め、学力の定着を図ることを目標とする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	演習問題	評論・小説・古文・漢文のそれぞれの特性を理解し、解法のコツやポイントとなる知識を学び、内容理解に努める。	『〈時と場〉の変容』 『我が身にたどる姫君』 『時の扉』 『郁離子』 『哲学入門』 『耕雲口伝』 など	
	2 学 期	演習問題	多くの演習問題を解き、文章の構造を意識する。知識理解を深めながら、問題を時間内にといていく力をつける。	『典子の生きかた』 『潜研堂文集』 『美の存立と生成』 『竹むきが記』 『岸辺の駅』 『蕉窓文草』 など	
	3 学 期	演習問題	多くの演習問題を解き、文章の構造を意識する。知識理解を深めながら、問題を時間内にといていく力をつける。	センター過去問題 など	

教 科 国 語 科 目 ゼミ選択 必修

授業科目	ゼミ選択	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書			副教材	2017 進研(センター試験)対策国語重要問題演習現代文／古典	
授業概要	3 学年 1 単位で履修するゼミ選択必修の国語。高校 2 年までに修得した国語学習法の基本を踏まえ、センター試験に向けた対策として、評論・小説・古文・漢文の演習問題を解きながら解き方のコツや知識を深め、学力の定着を図ることを目標とする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学期	演習問題	評論・小説・古文・漢文のそれぞれの特性を理解し、解法のコツやポイントとなる知識を学び、内容理解に努める。	『反アート入門』 『太平記』 『優しい音楽』 『容斎随筆』 『はじまりの死生学』 『閑居友』 など	
	2 学期	演習問題	多くの演習問題を解き、文章の構造を意識する。知識理解を深めながら、問題を時間内にといていく力をつける。	『供物』 『貞観政要』 『擬人化よ動物表象』 『狭衣物語』 『天使の見習い』 『唐語林』 など	
	3 学期	演習問題	多くの演習問題を解き、文章の構造を意識する。知識理解を深めながら、問題を時間内にといていく力をつける。	『閑窓瑣談』 センター過去問題 など	

教 科 社会科(地歴)科 目 日本史 B

授業科目	日本史 B	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	山川出版社 日本史 B	副教材	山川詳説日本史図録 日本史重要用語&演習 山川出版社		
授業概要	一年間を通じて、ペリー来航から日本の現代の情勢についての大まかな歴史の流れを理解する。また、様々な資料に基づき日本の歴史を多面的・多角的に考察するとともに世界との関連についても考察する。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	第 9 章～第 11 章	・ペリー日本の来航から近代国家の成立過程を理解する。第一次世界大戦と日本の国際的な立場を理解し、それによる好況が日本経済や社会に与えた影響を考察する。		教科書等	
	第 9 章～第 11 章	大戦景気から軍部が台頭していく流れを理解する。そして、日中戦争から敗戦までの日本と世界の関係を考察する。戦後から現代の世界と日本についても考察する。		教科書等	
2 学 期	2 学期 1 章～11 章の 文化史	・文化史全般を扱い、各時代の特色を理解する。その後、問題演習などを行う。		教科書等	
3 学 期	3 学期 1 章～11 章	・センター試験、私大、国公立入試対策など行う。		教科書等	

教科 社会(公民)

科目 現代社会

授業科目	現代社会	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	実教出版 最新 現代社会	副教材	資料集・ワーク		
授業概要	現代社会に関連する様々な課題を取り上げ、日本の政治、経済を理解し、国際社会における日本の立場を理解する。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学期	第 1 章 現代の民主政治 と日本国憲法	民主政治の仕組みと課題を理解する。日本国憲法の成立過程と三大基本原理の内容を理解する。		教科書 資料集 ワーク
	2 学期	第 1 章 現代の経済社会 と国民生活	日本の政治機構と国会についての内容を理解し、政治に対する関心を高める。裁判所の役割についても考察する。		教科書 資料集 ワーク
			資本主義経済の特徴を理解するとともに日本経済の課題を多面的、多角的に考察する。		教科書 資料集 ワーク
3 学期	第 1 章 私たちの 生きる社会	地球環境問題、資源・エネルギー問題、原子力と再生可能エネルギー、食糧問題など取り上げ解決策を考察していく。		教科書 資料集 ワーク	

教 科 地理歴史科

科 目 地理歴史ゼミ

授業科目	地理歴史ゼミ(日本史B)		単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 普通科		コース			
教科書	高校日本史B (山川出版社)		副教材	新版日本史重要用語&演習 (山川出版社) 詳説日本史図録第6版(山川出版社)		
授業概要	・基本的には、授業で扱っていない分野を先に進め、問題演習を繰り返し行い、学習の定着をはかる。					
授業内容		単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学期	・近代国家の成立～現代の世界と日本	・近代国家の成立から現代の世界と日本についての歴史を多面的・多角的に考察し、理解すること。		・教科書 ・資料集 ・問題集	
	2 学期	・大学入試（センター試験）対策	・大学入試に向けて問題演習を繰り返し解き、出題形式に慣れること。		・教科書 ・資料集 ・問題集	
	3 学期	・センター試験対策	・センター試験の問題形式に慣れること。		・教科書 ・資料集 ・問題集	
			備考 各自希望の進路に向けて、柔軟に対応します。			

教 科 社会科(地歴)科 目 日本史 B

授業科目	日本史 B	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	山川出版社 日本史 B	副教材	山川詳説日本史図録 日本史重要用語&演習 山川出版社		
授業概要	一年間を通じて、ペリー来航から日本の現代の情勢についての大まかな歴史の流れを理解する。また、様々な資料に基づき日本の歴史を多面的・多角的に考察するとともに世界との関連についても考察する。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	第 9 章～第 11 章	・ペリー日本の来航から近代国家の成立過程を理解する。第一次世界大戦と日本の国際的な立場を理解し、それによる好況が日本経済や社会に与えた影響を考察する。		教科書等	
	第 9 章～第 11 章	大戦景気から軍部が台頭していく流れを理解する。そして、日中戦争から敗戦までの日本と世界の関係を考察する。戦後から現代の世界と日本についても考察する。		教科書等	
2 学 期	2 学期 1 章～11 章の 文化史	・文化史全般を扱い、各時代の特色を理解する。その後、問題演習などを行う。		教科書等	
3 学 期	3 学期 1 章～11 章	・センター試験、私大、国公立入試対策など行う。		教科書等	

教 科 社会(公民)

科 目 現代社会

授業科目	現代社会	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	実教出版 最新 現代社会	副教材	資料集・ワーク		
授業概要	現代社会に関連する様々な課題を取り上げ、日本の政治、経済を理解し、国際社会における日本の立場を理解する。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学期	第 1 章 現代の民主政治 と日本国憲法	民主政治の仕組みと課題を理解する。日本国憲法の成立過程と三大基本原理の内容を理解する。		教科書 資料集 ワーク
	2 学期	第 1 章 現代の経済社会 と国民生活	日本の政治機構と国会についての内容を理解し、政治に対する関心を高める。裁判所の役割についても考察する。		教科書 資料集 ワーク
			資本主義経済の特徴を理解するとともに日本経済の課題を多面的、多角的に考察する。		教科書 資料集 ワーク
3 学期	第 1 章 私たちの 生きる社会	地球環境問題、資源・エネルギー問題、原子力と再生可能エネルギー、食糧問題など取り上げ解決策を考察していく。		教科書 資料集 ワーク	

教 科 地理歴史科

科 目 地理歴史ゼミ

授業科目	地理歴史ゼミ(日本史B)		単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 普通科		コース			
教科書	高校日本史B (山川出版社)		副教材	新版日本史重要用語&演習 (山川出版社) 詳説日本史図録第6版(山川出版社)		
授業概要	・基本的には、授業で扱っていない分野を先に進め、問題演習を繰り返し行い、学習の定着をはかる。					
授業内容		単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学期	・近代国家の成立～現代の世界と日本	・近代国家の成立から現代の世界と日本についての歴史を多面的・多角的に考察し、理解すること。		・教科書 ・資料集 ・問題集	
	2 学期	・大学入試（センター試験）対策	・大学入試に向けて問題演習を繰り返し解き、出題形式に慣れること。		・教科書 ・資料集 ・問題集	
	3 学期	・センター試験対策	・センター試験の問題形式に慣れること。		・教科書 ・資料集 ・問題集	
			備考 各自希望の進路に向けて、柔軟に対応します。			

教 科 情 報

科 目 社 会 と 情 報

授業科目	社会と情報	単位数	1 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	3 年 普通科	コース			
教科書	社会と情報（東京書籍）	副教材			
授業概要	社会と情報 ビジネス文書実習・表計算実習・電子会計実習				
授業内容	単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	私たちを取り巻く情報	メディアの意味と特徴を学ぶ。 情報の信憑性について理解する。 情報を批判的にとらえることを知る。		教科書	
	アナログからデジタルへ	10進数と2進数、16進数の対応について理解する。 デジタルデータの利点と情報の統合について理解する。		教科書	
	インターネットの利用	アドレスやパケット通信について理解する。 ソーシャルメディアや表現について学ぶ。 情報の発信の方法とその工夫・注意点について理解する。		教科書	
1 学 期	コンピューター実習	Word 実習。 Power Point 実習。 各種機能の使い方を理解する。		プリント	
2 学 期	コンピューター実習	ビジネス文書実習。 EXCEL 実習。 機能の使い方を理解する。 表計算実習。		プリント プリント	
	コンピューター実習	ビジネス文書実習。 表計算実習。 高度な機能使い方を理解する。		プリント	
3 学					

教 科 数 学 科 目 数 学 ゼ ミ ナ ー ル

授業科目	数学ゼミ	単位数	4単位	履修形態	必修・ <u>選択</u>	
履修学年	高校3年 普通科	コース	普通コース			
教科書	なし		副教材	数学 I, A, II, B (数研出版)、プリント		
授業概要	数学 I, A, II, B					
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材	
	1 学 期	数学 I A II B 演習 マーク模試 総合演習	数学 I A II B の全範囲を基礎から復習し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする。			
	2 学 期	センター試験 模擬問題 センター試験 マーク模試 記述模試	数学演習問題を数多く解くことにより、基本的な数学の考え方を利用し問題を解く力を習得させ、センター試験数学に対応できるようにする。□計算力を高め素早い計算をできるようにし、センター試験において利用する範囲を理解し活用するために練習を重ねることを継続して行っていく。			
	3 学 期	センター試験 模擬問題 センター試験 直前対策 2次試験対策	センター試験レベルの学習レベルに到達し、短時間で基礎問題を解答する実力を身に付けさせる。自分のもてる力を総動員して課題を解決する活動を通して、一層理解を深めるようにする。			

教科 保健体育

科目 体育

授業科目	体育	単位数	2単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校3年	コース	普通科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任などに対する意欲を高め、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力に 合った目標タイムを設定し記録向上に向けた練習 を進める。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートの技術向上を図り、よ り高度な試合展開ができるようにする。		
	2 学 期	ダンス	創作の質を高め、ダンスの技術の向上と自己表現 の楽しさを味わう。		
		器械運動	柔軟性を高め、多様な技を組み合わせた演技をし、 成功した時の喜びを味わう。		
		体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	チームでの連携を図り、より高度な試合展開がで きるようにする。		
武道		相手の動きの変化に応じて、多様な技への連絡を 用いて高度な試合展開ができるようにする。			

教 科 理 科

科 目 理 科 ゼ ミ

授業科目	理科ゼミ	単位数	単位	履修形態	選択
履修学年	3年	コース	普通科		
教科書	物理		副教材	リード Light 物理基礎 数検出版	
授業概要	問題演習を行い、自分で問題について説明することができる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	第1章 運動とエネルギー	運動の法則について説明するkとができる。		問題集
	2 学 期	第2章 熱	熱や波動きの問題を解くことができる。		問題集
		第3章 波			
		第4章 電気	電気の性質について理解することができる。		問題集
3 学 期	第5章 物理学と社会	私たちの身の周りのエネルギーはどのように変換されているのか理解することができる。		問題集	